

12月定例会

指定管理者の指定など18議案を可決

令和元年第4回定例会は12月4日から12月20日までの会期で開催されました。初日の本会議では、「みんなが笑顔住みやすいまち「えびな」を基本理念とした新たな計画「えびな未来創造プラン2020」や、海老名駅自由通路と海老名中央公園を一体的に管理する指定管理者の指定など、18議案が提案され、最終的には、議員から1件の議案が提案されました。ここでは、委員会に付託された主な議案の委員会審査の概要を報告します。提案された全ての案件の件名および審議結果などは、最終面「令和元年第4回定例会の会議結果」とおあります。

指定管理者の指定について (海老名駅自由通路・海老名中央公園)

今定例会では、海老名駅自由通路・海老名中央公園の指定管理者の指定についての議案が提出されました。これまで海老名駅自由通路では、平成22年から駅舎部に指定管理者制度を導入し、平成27年に完成した駅間部や西口部などにも範囲を拡大する中で、令和元年度末に指定期間が満了となります。また、海老名中央公園は昭和60年に供用が開始され、平成14年に再整備され、市が直接管理しています。この2施設の一体管理を図るために指定管理者を指定するもので、賛成多数で可決されました。経済建設常任委員会の審査概要は次のとおりです。

問 中央公園に指定管理者制度を導入するメリットと提案されている自主事業の内容を伺います。

答 指定管理者が作成するホームページにより利用申請の受け付けや公園内で行われるイベント情報の発信などを行うことで市民サービスの向上が図れると考えています。また、民間ノウハウの活用による利用料金の增收や有料広告などによる収益により経費節減が期待されます。自主事業としては、自転車の



海老名中央公園

駐輪場や有料広告物などが提案されています。

問 自由通路に自主事業を取り入れるメリットを伺います。

答 指定管理者による広告事業や自由通路に設置している自動販売機などの自主事業収入が経済的に効果が高いと認識しています。

問 指定管理者制度導入による利用者ニーズの把握方法などについて伺います。

答 指定管理者との調整会議により情報共有を図るとともに、業務に反映できる内容は反映したいと考えています。

問 指定管理者制度導入に伴う中央公園の人員体制や具体的な業務内容などを伺います。

答 維持管理業務に携わる職員配置体制は、設備管理に3名、清掃業務に3名、警備業務に11名という提案を受けています。このほかにも利用承認業務や自主事業など、自由通路と兼務する職員もおりますので、最終的な人数などは今後協議していきます。

問 自由通路では、音楽活動、署名活動などが行われていますが、指定管理期間中に起きたトラブルや課題点などについて伺います。

答 自由通路では、警備巡回の中、条例に反する方や、注意を促さなければいけない事案など年間1~20件程度を確認しています。利用の形態が変わった



海老名駅自由通路

ことによる苦情が、市へメールや電話などで今年度50件程度あつたことが課題と認識しています。

問 ランニングコストなどの経費負担の区分について伺います。

答 管理経費などの負担区分は共通仕様書に定めています。例えば、中央公園の水道光熱費は指定管理者、自由通路の東口の駅広部と中央三丁目方面は市、それ以外の駅舎部と駅間部が指定管理者といった負担区分となっています。

問 指定管理者の募集にあたり工夫した点を伺います。

答 今回は鉄道の橋上を管理する実績がある事業者に限定しなくても管理できると判断して募集を行いました。現場見学会に来た事業者は5者でしたが、結果的に1者が応募したという経過です。

問 債務負担行為の内訳について伺います。

答 自由通路は管理経費、自主事業費、修繕費、その他諸経費、保険料、設備投資などの合計、収入は自主事業費など過去3年の実績をもとに算出しました。中央公園においても、過去3年間の実績をもとに算出し、樹木の管理や、清掃頻度の見直しなども行いました。また、指定管理者制度の導入にあわせて公園内の巡回業務などを追加しています。

問 中央公園ではこれから行われる自主事業、今まで市民団体の方々が定期的に行っていた事業など優先順位があると思いますが、市の認識を伺います。

答 中央公園で行う事業では、市が主催するものと実行委員会が行うイベントを優先したいと考えています。また、他のイベントは、事業者間で調整して実施していただくという考え方です。

問 音楽活動など自由通路全体に制限をかけるのではなく、一部の箇所ではヘブンアーティスト制度を設けるなどを考えていただきたいと思いますが見解を伺います。

答 音が全て悪いというわけではなくて、にぎわいを創出する上では必要な要素でもあるとは思います。他の法律も遵守しつつ、今後、年度協定を結ぶ中で必要な見直しは図っていきたいと思っています。